

第十二回 高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会 世話人会 議事録

日時：平成 24 年 9 月 8 日（土） 18:30～19:00

場所：ホテル ニューオータニ高岡 3階 雨晴の間

議事進行：当番世話人 太田 長義 先生

議事補佐：代表世話人 小関 支郎 先生

書 記：富山県済生会高岡病院 事務部 中瀬 剛司 様

塩野義製薬株式会社 担当 中家

武田薬品工業株式会社 担当 吉田

・出席（17名）

小関先生、稲尾先生、太田先生、斉藤先生、宮崎先生、黒澤先生、野田先生、宮内先生、辻本先生、中川先生、高橋先生、飯田先生、村上先生、平野先生、藤田先生

・欠席（4名）

柴田先生、斉藤先生、白川先生、高嶋先生

●議題：

1) 会計報告

富山県済生会高岡病院 事務部 中瀬 剛司 様より報告頂く
監査し承認された

2) 新世話人のご紹介（名前順）

済生会高岡病院 院長 飯田 博行 先生

小関先生から紹介後、一言御挨拶をいただく。

飯田先生から挨拶。

3) 第十二回 当番世話人について

金沢医科大学氷見市民病院

斎藤 人志 先生

4) 第十二回 開催時期について

平成 25 年 3 月 9(土) 候補

5) 第十二回 開催内容について

現在は斎藤先生に一任している形

6) 第十二回 特別講演講師について

現在は斎藤先生に一任している形

7) 今後の運営について

これまで通り

8) その他

在宅緩和ケア地域連携パス 取り組み状況報告

村上先生：在宅緩和ケア地域連携パスについては、1年前の当会で承認され、昨年10月から試験運用を開始致しました。済生会高岡から在宅緩和に移行した患者様約20名、厚生連高岡病院でも1例運用したと聞いております。手元の資料のPPTは学会で報告表したものです。約20例の中で10例を分析した結果、在宅での看取り率70%、在宅での療養期間約26日でした。問題点を拾い上げるため、訪問看護師やケアマネージャーの方々の意見を頂いたところ、字が小さい、使いにくいという意見が多く出ました。8/28に小関先生、平野先生、訪問看護ステーション、ケアマネージャー2施設、調剤薬局の方がたで最終的な協議をした結果がこのような形になりました。あまり使っていない部分を削り、見開き左側はお薬手帳に貼るシールのスペースを作り、各事業所の連絡先も記載しました。5大学地域連携パスでは患者が持ち歩けるように、A4のサイズにしました。在宅緩和の地域連携パスは、ベッドサイドに置いておく物なのでA5サイズにしました。症状経過のスコアリング、看護師さんが記入する経過記録票、自由記入の3つのスペースがあり、A4の見開きで1日分が見られるようにしております。

小関先生：このパスについて、忌憚のない意見、またはご意見が叶っているかどうか教えてください。

野田先生：要望通り、一覧になっており見やすくなり、自由記載のスペースも入れて頂き、要望が反映されています。ありがとうございます。

宮内先生：要望通り、プロフィール欄に各事業所の連絡先が書いてあり満足しています。ありがとうございます。

小関先生：カルテと違い、家族にも記載して頂く事ができ、画期的なツールになるかと思えます

中川先生：裏の内容もばっちり書けそうなので、とても素敵なものができたと思うので、嬉しいです。

村上先生：承認頂ければ来週から使う予定です。

一同：承認致します。

村上先生：このパスは高岡医療圏及び富山県のがん診療連携の統一パスとして、承認されたのでこの施設でも使って頂けます。使う際にはCD-ROMの中にデータが入っているので、どなたでも作る事ができます。透明なファイルは協和発酵キリンの井草さんに連絡すればどこで手に入るか教えてください。名刺を入れてあります。パスについて、分析をして在宅緩和ケア推進にどのように有用なツールであるかを分析し、パブリッシュする予定です。富山大学の緩和ケアチームと共同研究し、スーパーバイザーとして聖隷三方原病院の森田先生にコメント頂く予定です。後ろに説明同意書がついていますので、患者と家族にパスについて説明される際には、同意書を取って頂ければ助かります。こちらは富山大学の倫理委員会を通過しております。来年3月には少し報告もできるかと思えます。

小関先生：説明同意書を取って頂ければ、病院の先生も情報を出し易いかもしれませんね。

以上